

④ 情報を共有し課題意識を持って組織的に取り組むことができる協働体制作り。

課題と目標

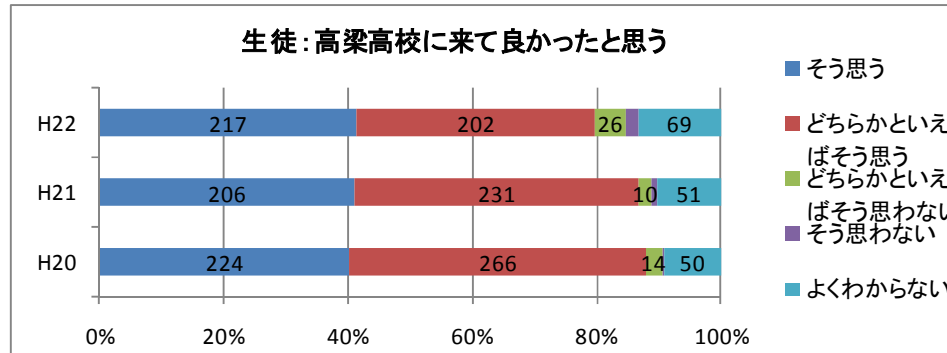
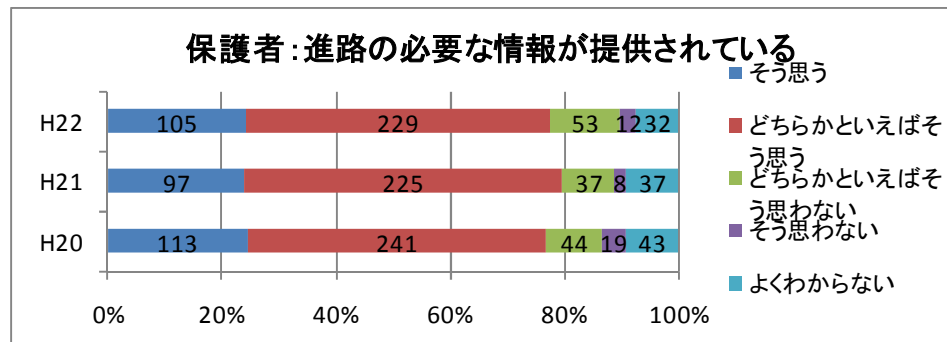
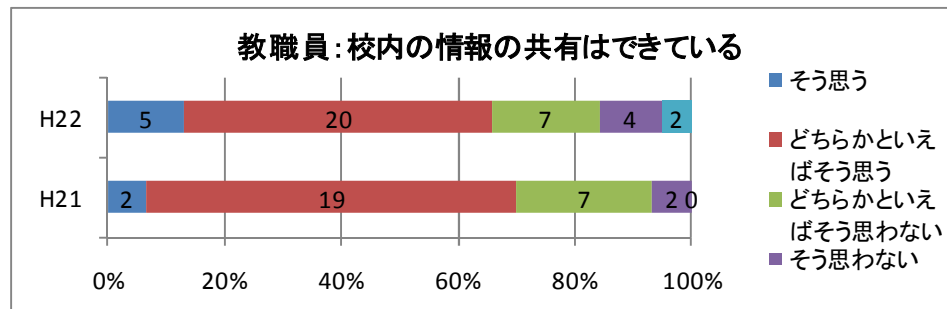
【具体的な取組の方向】

- 科目選択の説明資料を改訂する。
 - A【教務】
 - C【生徒】
- 部顧問会議の開催。
 - B【進路】
- 進路課通信の発行。
 - A【総務】
- 課会議を今年は定期的に開催する。
 - A【1年】
- 生徒情報を年次会議や朝礼でおこなう。
 - C【2年】
- 議題の精選をする。会議は1時間以内。
 - A【3年】
- 1週間前に会議内容を予告する。終了時刻を予告して会議を始める。
 - B【家政】
- 会議前に資料配布をおこなう。

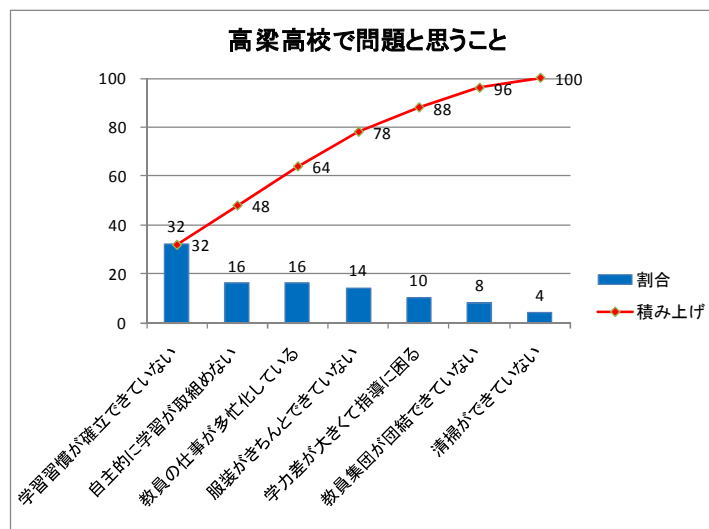
【プロセス】

- 【教務課】
 - 5月中：進路課の協力を受け、中四国地区の大学の受験科目を説明資料に含めるなど、資料の改定を行った。
 - 6月上旬：年次会議で、科目選択の指導方針や方法について十分協議した。
 - 6月下旬～7月：各担任が科目選択について、生徒面談を行った。
 - 7月上旬：科目選択予備調査を実施した。
 - 8月下旬：年次会議にて、調査結果を元に生徒個別の選択指導について協議した。
 - 9月下旬：科目選択希望調査を実施し、各担任が生徒面談を行った。
- 【生徒課】
 - 部顧問会議を年度初めの1回実施。
- 【進路課】
 - 進路通信1年次10号、2年次35号、3年次10号を発行した。
 - 進路課会議を25回実施した。
- 【総務企画課】
 - 月1回、計8回の会議を行った。
- 【1年次団】
 - 会議を8回行った。生徒情報をほぼ毎日の朝礼時で行い、年次会議では行っていない。
- 【2年次団】
 - 会議を11回行い、事前資料配付を6回、1時間以内終了が3回行った。
- 【3年次団】
 - 週1回は会議を行っているが、進路課との合同会議のため資料の事前配付ができていない。
- 【家政科】
 - 週1回、計18回の会議をもち、資料の事前配布ができています。
- 【全体】
 - 7/26 職員研修でSWOT分析、8/3に学校評価委員会でSWOT分析を完成。
 - 問題解決アンケート9月に2回実施。学校の課題を明確化した。12月教員を3つのグループに分けて特性要因図を作成。教科主任会・年次主任会・進路指導課等の担当部署が解決策を年度末に考える。
 - 課長連絡会23回、年次主任連絡会7回
 - 教科フォロー会：国語 7/28,地歴 8/23,数学 8/18,理科 8/24,保体 7/26,芸術 7/20,英語 8/25,家庭 7/26
 - 分掌フォロー会：教務 10/12,総務企画 10/8,進路 10/7,生徒 10/6,文化 10/7,厚生環境 10/5,年次主任 10/21

【結果等】



【家政科】会議が時間内終了18回中15回できた。



- 情報の共有から、課題意識の共有、課題解決のための議論へと、組織的な取り組みを進める。
 - 課長連絡会 (週1回)
 - 年次主任連絡会 (月1回)
 - 運営委員会との連携、活性化
 - 教科フォロー会
 - 分掌フォロー会
 - 教科会議の充実
- 満足度
 - そう思う 50%
 - どちらかといえばそう思うまで 90%